

2012 年 1 月発行

京都国連寄託図書館

News Letter No. 8
Winter 2012

Open: 月-金曜日 10:00-17:00 *土日祝日、年末年始、夏期休暇期間は閉館
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学衣笠キャンパス明学館 1 階
TEL : 075(465)8107 FAX : 075(465)8334



《世界人口70億人》

2011 年 10 月 31 日、世界人口は 70 億人に到達しました。過去 60 年間に平均寿命が延び、乳児死亡率が低下するなど、世界人口の動向には多くの進展がありました。

しかし、人口増加の約 97%は開発途上国に集中、世界には未だ大きな格差が存在し、多くの人々が食料や水不足、自然災害の被害を受けやすい状態にあります。その一方で高・中所得国では、出生率の低下と人口の減少、そして高齢化の対応に迫られています。

今後、*世界人口は 2050 年に 93 億人になり、21 世紀末までには 100 億人以上になると予測されています。

*World Population Prospects: The 2010 revision 推計



70 億人の世界、7つの課題



人口 70 億人が生きるこの世界は、多くの複雑な問題を抱えています。UNFPA（国連人口基金）では 7 つの分野における「7つの課題」を提示しています。

①**貧困と不平等：悪循環を打ち切るために**～貧困と不平等の撲滅が人口増加を緩和する～

②**女性と少女：エンパワーメントが発展を促す**～女性と少女への抑圧を無くすことが社会発展を促す～

③**若者：未来への原動力**

～エネルギーに満ち溢れ、新しいテクノロジーに対し柔軟で、そして歴史上もっとも強く互いに繋がり合っている若い世代がグローバルな政治と文化を形成する～

④**妊産婦・新生児の健康**

～妊産婦の健康を守るために質の高いリプロダクティブ・ヘルス*関連サービスを楽しむことができるようにする～

*リプロダクティブ・ヘルス=「性と生殖に関する健康」…妊娠・出産を含む女性の生涯を通じた健康を指す

⑤**環境：地球環境の保護が、私たちの生活を支えていく**

～私たち 70 億人と次世代の人々の生活は、地球環境によって左右される～

⑥**高齢化：前例のないチャレンジ**

～出生率の低下と寿命の延びによっておこる高齢化が、これからの世界規模の課題～

⑦**都市化：これから都市はますます大きくなる**

～これから増える 20 億人が都市に住む可能性に備え、計画する必要がある～

世界人口 クイズ

Q1. 世界の人口は 1 分に何人増えているでしょう？

Q2. 2030 年までに中国の人口を抜いて世界人口 1 位になると予想されている国はどこでしょう？

答え：Q1. 約 148 人、Q2. インド



人口増加による世界の現状・問題



◆世界人口の合計特殊出生率（女性一人が出産可能期間に産むと見込まれる子どもの数）

経済成長と発展、女性の教育と収入を得る機会が拡大したことにより、6.0 人から 2.5 人へと半分以下になった。



しかし、開発途上国では 4.2 人、サハラ以南アフリカ諸国は 4.8 人となっており、出生率の高さが開発を滞らせ、貧困を長期化している。

◆環境

水、木、食糧そして化石燃料(石炭・石油など)の需要は、人口の増加と共に増える一方である。とりわけ水不足は深刻である。過去 100 年で世界の人口は 3 倍に増え、産業の発展や生活水準の向上に伴い、水の消費量は 6 倍に増えた。世界では約 8 億 8,400 万人の人々が安全な飲み水を飲むことができていない。

◆平均寿命

1950 年代初期から今日にかけて、世界人口の平均寿命は 48 歳から過去最高の 69 歳へ延びた。



しかし、HIV 感染拡大により、サハラ以南アフリカ諸国のいくつかで平均寿命が悪化している。

今後のアフリカの人口増加

2011 年現在、世界人口の 60%がアジア、15%がアフリカに住んでいる。アフリカの人口は現在 10 億人であるが、2100 年には 36 億人になり、アジアを追い上げるとの予測がされている。

国際人口開発会議(カイロ会議)

International Conference on Population and Development (ICPD)

1994 年、エジプトのカイロで開催された人口と開発に関する国際会議で、179 カ国の代表によって、将来に向けた 20 年計画である「行動計画」が採択されました。1999 年 2 月にオランダのハーグで開催された会合でも、この合意は再確認されています。

具体的な目標としては、2015 年までに誰もが初等教育を受け、乳幼児と妊産婦死亡率を減らし、家族計画、助産師や産婦人科医の立会いの下で行われる出産、HIV を含む性感染症の予防などの SRH（性と生殖に関する健康）関連のケアを、必要とする人すべてに提供することなどが含まれています。

国連機関紹介 8

United Nations Population Fund UNFPA 【国連人口基金】

国連人口基金は、すべての女性、男性、そして子どもが健康な生活を送り、平等な機会を享受できる世界を実現するために活動する国連機関です。

国連人口基金は、貧困を減らし、望まない妊娠をなくし、すべての出産が安全に行われ、すべての若者が HIV/エイズの脅威にさらされることなく生活し、すべての女性と少女が尊重され、尊厳ある人生を送ることができるよう、人口統計データを用いながら、様々な国の政策を支援しています。

『世界人口白書 (State of world population)』

UNFPA より毎年発行されており、人口問題に関連するさまざまな課題に焦点を当てています。当館でも、英語・日本語版ともに所蔵しております。



国連寄託図書館とは・・・

“国連”のことを広くみなさんに知っていただくために、国連が世界に設置している図書館です。また、どなたでもご利用いただけます。

京都国連寄託図書館では、年四回ニュースレターを発行しています。ニュースレターの送付をご希望の学校関係者の方は、下記までご連絡ください。なお、個人への直接送付は行っておりませんのでご了承ください。

発行：京都国連寄託図書館

〒603-8577

京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学衣笠キャンパス明学館 1 階

TEL 075(465)8107

FAX 075(465)8334

URL :

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/in/cger/kunl/index.html>

Kyoto United Nations Depository Library

News Letter No.8